

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~3日	1月 ~10日	1月 ~17日	1月 ~24日	1月 ~31日	2月 ~7日	2月 ~14日	2月 ~21日	2月 ~28日	3月 ~7日	3月 ~14日	3月 ~21日	3月 ~28日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	10	27	31	21	25	14	10	14	27	29	29	38	38
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	2	13	7	11	6	11	6	6	2	8	10	19	14
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	0	1	2	2	1	2	0	0	3	1	0	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	2	1	5	2	4	6	4	4	2	6	9	11	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	0	4	4	2	0	4	2	2	2	2	6	4	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	1	4	1	3	1	1

* その他の1件はアエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第12週(3月22日~3月28日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8	1				4		3
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3				3			
四類	1	E型肝炎	1			1				
		レジオネラ症	1				1			
五類	2	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1
		梅毒	1				1			
新型インフルエンザ等感染症	56	新型コロナウイルス感染症	56	5	0	1	0	44	6	0

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

第12週に合計44件の報告がありました。広島市では、2月以降少ない状況が続いていましたが、3月下旬から急増しており、3月29日時点の直近1週間の新規感染者は3.7人/10万人と、広島県警戒基準値(4.0人/10万人)に近づいています。

年度末や年度初めは、就職、転勤、進学、歓送迎会など、人の移動や飲食の機会が増える時期で、感染リスクも高くなります。感染を再拡大させないために、1人1人が基本的な感染対策を徹底することが大切です。

感染拡大に歯止めをかけるために

- **大勢での会食を控え**ましょう。また、**発熱や咳などの症状があるときは、会食に参加するのは絶対にやめ**ましょう。
- 感染者の多い地域との不要不急の往来を控えましょう。
- 感染するリスクの高い施設の利用は控えましょう。
- **発熱や咳などの症状があるときは、仕事や学校を休み、身近な医療機関またはコールセンターに相談し、医療機関を受診**しましょう。

コールセンター (積極ガードダイヤル)
 082-241-4566



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号
フィルン	インフルエンザ	1	0.03	4.08		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.21	
小児科	咽頭結膜熱	8	0.33	0.36		小児科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.31	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.42	1.94		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	94	3.92	6.08		眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.35	
	水痘	3	0.13	0.30		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.17			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.25			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	突発性発しん	11	0.46	0.29			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.04		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	1.46		

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	27	70歳代・2人、80歳代・1人、90歳代・1人
4	レジオネラ症	1	6	50歳代
5	梅毒	1	10	20歳代

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.3℃)	4	2021/01/16	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌
感染性胃腸炎	発熱(38.1℃) 下痢 腹痛	5	2021/02/02	糞便	カンピロバクター ジェジュニ
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂	8	2021/02/09	結膜擦過物	アデノウイルス37型
その他の消化器疾患	腹痛 腸重積 不機嫌	2	2021/01/19	糞便	アデノウイルス2型
その他の発疹性疾患	発熱(38.2℃) 歯肉炎	3	2021/02/03	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載